



池田 達夫 議員
「日本一の子どもを育てる」
取り組みは

こども課の創設で
子育て支援への強化は

また、過疎と少子化に伴う
保育園統合の現状を伺う。

市長・教育長答弁

子育て支援として、経済的
支援、企業への働きかけな
ど、現状や取り組みについ
て伺う。

就学前の子どもに対して医
療費助成を実施中だが、次世
代育成支援行動計画には、通
院・入院ともに小学校6年生
まで拡大する目標があるので、



鈴木 勢子 議員
子宮がんワクチン
の早期助成は

子宮頸がんは
「予防できるがん」

増えており、当市においても
早期に実施すべきであるか考
えを伺う。

市長答弁

子宮頸がんワクチンの早期
助成制度は、今後、公費助成
する方向で検討していく。

質問
「予防できるがん」として、
昨年10月厚生労働省は予防ワ
クチンを承認したことで、新
年度から公費助成の自治体が



*現在市では、『子宮頸がん検診』無料クーポン券配布中

実施に向けて検討していく。

また、仕事と家庭生活との
両立を推進するハッピーパー
トナー企業事業は、現在、市
内で13社が登録済みで、今後、市
市内事業所へ働きかける。

就労環境の整備促進は、ワ
ーク・ライフ・バランスを保
つことが重要なため、国県等
関係機関と連携し、啓発セミ
ナーの開催など支援を引き続
き行う。

また、民営保育園の統合は、
現在、自発的に統合協議の準
備委員会が能生谷地域3園に
おいて設立されている。

「平和都市宣言」の
取り組みは

質問

安保改定50周年であり、平
和教育や市民への啓発活動、
「非核」をつけた「平和都市
宣言」が必要ではないか。市
の取り組みを伺う。

市長答弁

原爆死没者や戦没者の追悼
と平和への願いを含めた黙と
うについて、市民へ啓発する
ほか、今後も広報紙やホーム
ページに掲載予定である。

教育委員の公募制の
実現は

質問

「日本一の子どもを育てる」
観点から「住民に選択される、
新しい糸魚川市の教育」を目
指し、既成観念にとらわれず、
広い視野から教育委員の公募
制を導入してはどうか。

市長答弁

教育委員は、人格が高潔で、
教育、学術及び文化に関し識
見を有する者のうちから、地
方公共団体の長が、議会の同

平和教育の取り組みは、市
内小中学校にて、社会科の授
業で戦争について学習する場
面や日本国憲法の平和主義を
学習する場面で「糸魚川市平
和都市宣言」を取り上げ、学
習している。

なお、「非核」をつけた「平
和都市宣言」の提案は、当市
の「平和都市宣言」は、核兵
器の廃絶と真の恒久平和の願
いを込めたものであり、特に
「非核」を加えることは考え
ていない。

意を得て、任命することとな
っている。

また、平成19年度の法改正
により、委員の任命に当たり、
委員の年齢、性別、職業等に
著しい偏りが生じないよう配
慮し、保護者である者が含ま
れるようにしなければならな
いとなったが、現行の選任方
法で問題がないことから、
現段階では公募は考えてい
ない。

